

2012年2月10日

第13回 東日本大震災子ども支援ネットワーク運営委員会

日時：2月10日（金）9時30分～11時30分

場所：東洋大学浦水会館3階人間科学総合研究所

参加者：ユニセフ協会(1名) セーブ・ザ・チルドレン(1名) 子どもの権利総合研究所(2名)
事務局(1名) チャイルドライン欠席

1. 3月8日の国会での意見交換会について

目的：震災後今まで、様々な子どもと子育て支援の施策の取り組みが行われてきた。来年度は、県、基礎自治体、事業所レベルにおいて、どのように取り組み展開しようとしており、何があって何が不足しているのか？また、実施の価値があるのかについて報告、意見交換を行う。

政府の関係機関に対して、この施策はきちんと予算を確保し実施して欲しいと指摘を行う必要がある。

震災から1年、復旧・復興の場面では、子ども支援にどれくらい取り組んできたか？市民社会との自治体、既存施設との公共による協働・連携についてモデルを提示する。今後の支援への手がかりになる。

- ・報告者・団体候補の選定を行う予定。

2. 3月14日山田町での子ども支援交流会の開催の提案

支援交流会の後、当NWと山田町の共催で山田町への意見交換会を行いたい。

- ・「子どもの目・子どもの声」への協力の要請。
- ・セーブ・ザ・チルドレンによる活動報告。
- ・町役場の職員、子ども達、子育て支援センターの職員にも参加を呼び掛けたい。

3. 1月22日のシンポジウムの評価と反省

NWへの問い合わせからみても、どのように支援したら良いのか分からない人が多い。シンポジウムを大学で実施したことで、議論が出来た。

事務局からの報告

(1) HPについて

- 「子どもの目・子どもの声」のメッセージが停滞中。

(2) 来年度の東日本大震災子ども支援ネットワークの活動について

5月5日は当NWが設立されて1年目。

今後について、3月2日の運営委員会で話し合う予定。

<今後の予定>

2月11日(金) 人権啓発センターと法務省共催のシンポジウム「震災と人権」に
事務局長出席

2月17日(金) 人権啓発センター「東日本大震災と子ども支援」で研修

※次回の運営委員会

日時：3月2日(金) 9:30～11:30

場所：東洋大学白山校舎 研究棟会議室 B